



こばやし たかゆき 小林鷹之 からの手紙

社会保障と税の「一体」改革

政治の説明責任

年金の未来は？

政治に身を切る覚悟はあるのか

絆を力に。2012年 Vol.7 [討議資料]

自由民主党

千葉県第二選挙区支部 小林鷹之事務所発行

(八千代市・習志野市・花見川区)



編集後記

みなさまこんにちは。寒い日が続いていますが、風邪などひいていらっしゃいませんか。

小林本人は恒例の駅頭演説を1年半にわたり平日毎朝元気に継続しております。さて本年も小林の想いを一人でも多くの方にお伝えさせて頂くために、そして、一人でも多くの方の想いを小林自身が受け止めさせて頂くために、意見交換の場を設けさせて頂きます。(スタッフ)

小林鷹之と共に語る会

日時 2012年1月29日 日曜日
場所 花島町内会館 花見川区花島町60
時間 開場13時15分 開演13時30分 終演予定15時

今後の予定 花見川区畑町 / 花見川区猿橋町 / 習志野市秋津など、詳しい詳細につきましては小林鷹之事務所までお問い合わせ下さい。

鷹之ブログ ameblo.jp/kobahawk

日々のニュースを、わかりやすく解説しながら自身の意見を述べているブログです。ぜひお読み下さい。

twitter twitter.com/kobahawk

1歳の娘のことから天気のこと食べ物のこと、気になったことをほぼ毎日つぶやいています。

ホームページ www.kobayashi-takayuki.jp

小林鷹之についてもっと知りたい、ボランティアをお願いできる方、献金案内はこちらから。

小林鷹之がお伺いします！

小林鷹之事務所では小林本人の意見を一人でも多くの方に伝えさせて頂くために、5名様～10名様であっても小林鷹之本人が伺わせて頂きます。お気軽にお電話、FAX、メールにて是非事務所まで御連絡ください。

TEL:047-409-5842 FAX:047-409-5843

Email: info@kobayashi-takayuki.jp

自由民主党千葉県第二選挙区支部小林鷹之事務所

〒276-0042

千葉県八千代市ゆりのき台3-3-5

アットホームセンター第2ビル 202号室



活動報告



▲八千代市にて講演会を開催。参加して下さいの皆様ありがとうございました。

▼八千代市のマラソン大会(15kmの部)に参加。共に汗をかきながら完走いたしました。



▲習志野市にて座談会を開催。参加して下さいの皆様ありがとうございました。



▲地元の餅つきに参加。



▲花見川区にて講演会を開催。多くのご質問を頂き小林も勉強になりました。



小林鷹之プロフィール

東京大学法学部卒業。ハーバード大学行政大学院修了。平成11年大蔵省(現財務省)入省後、財政運営から国際金融に至るまで幅広い分野の政策立案を担当。在米日本大使館に出向した際、急速に変化していく国際社会の中で、日本が為す術もなく取り残されていく姿に危機感を抱き、昨年春財務省を退職。

公募を経て自由民主党千葉二区支部長就任。現在37歳。

社会保障と税の「一体」改革

明けましておめでとうございます。複雑な気持ちで新年を迎えられた方も多かったと思います。正月の新聞に、被災地ボランティアの際に知り合った方のコメントが掲載されていました。石巻市で当時小学校6年生の娘さんを亡くされた方です。「遺族に正月は関係ない。震災が発生した日からまた1日が過ぎただけで、何も変わらない。」

福島県においては、今もなお故郷に帰るメドも立たない方がいらっしやいます。復興に向けて、スピードと決断力ある政治が求められながらも、機能不全に陥っている永田町を何としてでも変えたい、そんな気持ちで新年を迎えました。

これから始まる通常国会では、被災地復興とともに、社会保障と税の一体改革が焦点になるでしょう。現行のままでは、財政も社会保障も持続不可能であることは多くの国民が頭では理解しているはずですが、しかし、「だから増税しますよ」との言葉には多くの方が心から納得できていないように見受けられます。景気と増税のタイミングの問題もさることながら、その理由は大きく2つあると考えます。一つは、政治が身を切る覚悟を示せていないからです。議員定数削減を口にしながらも、党利党略で議論が全く進まない。むしろ、改革を先送りするための口実とされています。「まず隼より始めよ」。この通常国会において、定数削減の法案を通すという行動で覚悟を示すべきです。

もう一つは、政治が説明責任を果たせていないからです。そもそも消費増税の前提となる社会保障制度の今後のあるべき姿が一向に見えてこない。

先日、社会保障と税の一体改革の素案が示されましたが、給付を増やすか負担を減らす「聞こえの良い」改革案のオンパレード。整合性や持続性への配慮に欠けている点は、マニフェストと同様です。このような財政支出拡大を容認する姿勢では、そもそも消費税を10%に引き上げても十分な財源を賄い切れるとは思えません。その一方で、当初提案されていた、外来患者への一律百円負担の上乗せ、年金支給開始年齢の引き上げなど、給付減や負担増をもたらす改革は殆ど先送りされました。もちろん、これらの改革案にはそれぞれ是非があつて然るべきです。十分な説明がなされないまま断行することは許されません。しかし、改革案を全体として見た時に、負担を伴う改革だけが先送りされている点はあまりにもバランスを失っており大きな問題です。

例えば、年金。少子高齢化という社会構造上の変化の下で、現行の年金制度がいずれ行き詰まることは誰の目にも明らかです。その中で事態の悪化に拍車をかけているのは、国民年金保険料の納付率の低下。特に若い世代の納付率が低い。何故か。それは、将来、保険料に見合う額が増えられないと考える若者が増えてきているからです。つまり、制度の持続可能性に対する信用がない。そのような中で、

「聞こえの良い」改革案が並べ立てられることは、若い世代から見れば、逆に制度全体への不信感を更に募らせることとなります。そうなれば、納付率は更に下がり、年金財源は減ります。将来無年金となる方への生活保護としての財政支出増も考えられます。その結果、制度全体がますます脆弱になるという負のスパイラルに陥るのです。

社会保障と税の「一体」改革と言うのであれば、消費税の話のみならず、社会保障についての議論をもっと深める必要があります。一方で、欧州を見れば分かる通り、この国の財政は既に大きなリスクに晒されています。高齢化が進む中、国債を買い支える貯蓄が減り、余裕がなくなっています。残された時間はそう多くはありません。

だから、今の永田町にモノを申したい。

足の引つ張り合いをする時間があれば、国民生活を支えるための本質的な議論に時間を費やしてもらいたい。国民の多くは特定の政党の将来に関心はない。関心があるのは、この国の将来。その将来のビジョンや処方箋を示せなければいかなる政党であれ存在意義はない。

私、小林鷹之は、本年も全力で、邁進してまいりますので、ご指導、ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

小林鷹之

平成二十四年一月吉日
自民党千葉県第二選挙区支部長